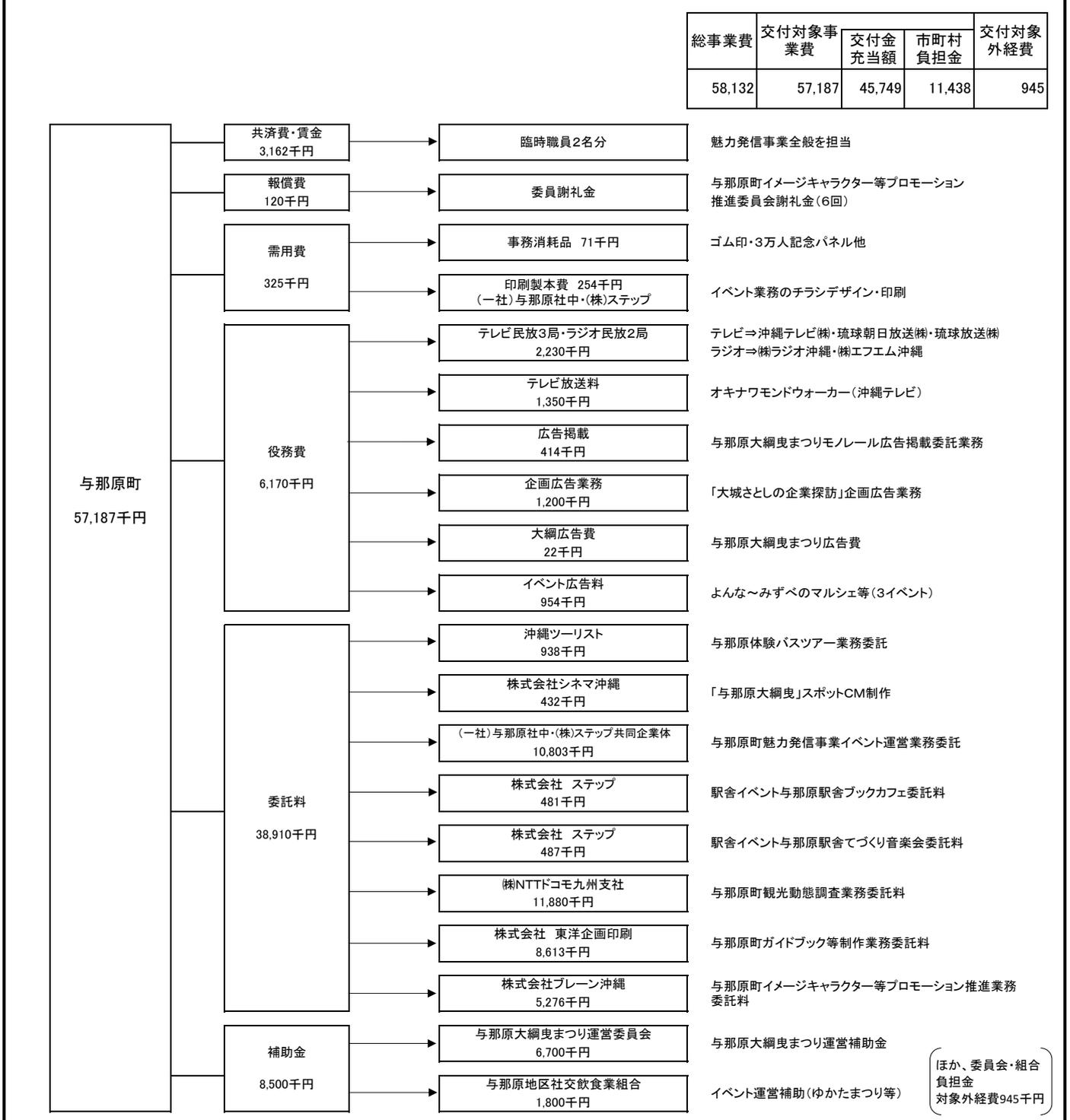


市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 与那原町魅力発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-(イ)		
	担当部課名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
				Ⅲ-1-1 (1)			
事業内容	本町の魅力を町内外に発信するために一年を通して各種イベントを開催し情報を発信する。また、新たな観光資源の開発やイメージキャラクターの策定、魅力発信事業に関連する委託業務を行い、本町観光事業の基盤を築く。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		12,648	6,060	22,540	84,055	60,380
			12,648	7,060	17,840	38,461	58,367
			0	1,000	▲ 4,700	▲ 45,594	▲ 2,013
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額		12,420	6,932	16,923	36,591	57,187
	うち交付金充当額		9,936	5,545	13,538	29,273	45,749
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.2%	98.2%	94.9%	95.1%	98.0%
	予算の状況の説明		平成30年度は3月に事業費や人件費等を精算し2,013千円を減額した。不用額1,180千円については、入札残等によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			30年度	31年度	R2年度	R3年度	
	・与那原体験ツアーの実施	目標	(1回)				
		実績	1回				
	・各種イベント(軽便・水路活用・地域活性化イベント)	目標	(5回)				
		実績	5回				
	・ガイドブック作成	目標	(1式)				
		実績	1式				
	・PRキャラクター制作	目標	(1式)				
		実績	1式				
・与那原大綱曳まつり運営補助	目標	(1式)					
	実績	1式					
・社交組合イベント(ゆかた祭り・スタンプラリー等)運営補助	目標	(2回)					
	実績	2回					
・観光動態調査実施	目標	(1式)					
	実績	1式					
達成状況説明	与那原大綱曳PR事業として、CM・ラジオ放送、「与那原大綱曳まつり」に関する運営補助金、与那原体験ツアーを行った。各種イベントに関しては軽便駅舎イベント2回、水路活用イベント1回、地域活性化イベント1回を開催した。日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語に対応した11,000部のガイドブックの作成、日本語・英語版のリーフレットを3,000部作成、ポスターを100部作成し、県内外・国外にむけて与那原町のアピールを行った。PRキャラクター制作業務では一般公募によるキャラクターを募集し、一般投票や審査員による審査を行いキャラクターを決定し2体の着ぐるみを制作した。他にも関連グッズの作成、110体のデザインパターンを作成し様々な場所やイベントでキャラクターのPR活動を行った。与那原大綱曳まつり運営補助金を交付し、打上げ花火・支度衣装・棧敷席設置等・舞台イベントなどの補助を行った。社交組合イベントではゆかた祭り・スタンプラリー等事業の運営費の補助を行った。観光動態調査においては各種イベントでの街頭調査、住民アンケート、事業者アンケートなどを行い、与那原町の観光の現状把握、各施策との連携及び効果の検証を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	・与那原大綱曳まつりの誘客	目標	()	()	(18,800名)	(18,800名)	()
		実績				23,109名	19,099名
	・ゆかた祭り等のイベント来場者数	目標	()	(400名)	(420名)	(2,000名)	()
		実績			6,000名	1,044名	22,128名
進捗状況説明	与那原大綱曳まつりの誘客に関しては目標の18,800名より299を上回る19,099名となった。台風の影響で2日間の「与那原大綱曳まつり」が1日の開催となったが目標を達成する事ができた。ゆかた祭り等のイベント来場者数については、目標の2,000名に対し、2,550名が来場し目標を達成することができた。ほかにも駅舎イベントや水路活用イベント、地域活性化イベントを開催し与那原町を町内外にアピールすることができ、その3つのイベントでの集客が19,578名となり「ゆかた祭り」の人数とあわせると実績数が22,128名となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・今年度は、イベント業務を含む8つの委託業務と2つの補助金交付事業を行い計画通り事業を推進することができた。与那原大綱曳まつりは2日間の実施予定が台風の影響により1日間の開催となったが目標値を若干、上回る事ができた。	・「与那原町観光実施計画」の重点施策の3本柱である「Ⅰ. 大綱曳、Ⅱ. 水路、Ⅲ. MICE」のうち、Ⅰ. 大綱曳、Ⅱ. 水路事業を活用したイベントを開催した。今後も実施計画にそって、効率的で継続可能な企画立案・計画を立て事業を実施する。
今後の取り組み方針		
・平成30年度に導入した与那原町観光動態調査業務を活用して○観光客の実態調査、○行動傾向調査、○WEB調査、○町民の意識調査、○事業者の調査を魅力発信事業のイベント事業の中で調査、分析業務を行い、与那原町の観光業務の発展につなげる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れの点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、本町の契約、会計規則に基づき、見積もりによる競争や指名競争入札、プロポーザルにて選定しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数見積等により予算を確定しており予算規模は妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱に定める交付率に基づいており、負担関係は妥当であると考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実施段階で十分な検討を重ねており、目的に即した真に必要なものとなっている。

市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
	担当部署名	まちづくり課		事業実施(予定)年度		平成24～令和3年度	観光客の受入体制の整備
事業内容	本町を訪れる観光客の満足度を向上させるため、散策コースの環境美化(剪定・除草・植栽整備等)を実施し、観光地としてふさわしい景観及び環境を創出する。					Ⅲ-1-(1)	
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,765	21,482	11,907	26,346	39,757
		(b) 予算現額	21,233	21,482	11,007	24,647	33,907
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,532	0	▲ 900	▲ 1,699	▲ 5,850
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	21,233	21,482	11,007	24,647	33,907
	B. 執行済額		20,651	19,788	10,703	22,798	32,858
	うち交付金充当額		16,521	15,830	8,562	18,238	26,286
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.3%	92.1%	97.2%	92.5%	96.9%
予算の状況の説明		作業用車両の購入のため、備品購入費1,493千円増額。整備予定箇所において、再検討が必要なため、委託費1,070千円、工事請負費5,253千円の計6,323千円減額。また、賃金職員が悪天候等で作業ができなかった為、出勤数減により1,020千円減額。合計5,850千円の減額となった。不用額の1,049千円は、賃金職員の出勤減による社会保険料の減、入札残及び修繕費の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	散策コース(10km)環境美化作業員配置8名	目標	()	()	(8名)	(8名)	
		実績			8名	8名	
	町内各所への花木の植樹	目標	(緑化工事1.0km)	()	(緑化工事0.5km)	(ブランター設置工事実施)	
		実績	緑化工事1.0km実施		緑化工事0.5km実施	ブランター設置工事完了	
	散策コース周辺整備設計業務委託	目標	()	()	()	(詳細設計業務実施)	
		実績				詳細設計業務完了	
散策コース周辺整備工事	目標	()	()	()	(整備工事実施)		
	実績				整備工事完了		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 散策コースを作業員8名により定期的に美化清掃を繰り返すことで、環境の美化を維持している。 花木の植樹について、今年度は与那原地区(御殿山親水公園付近)にて、ブランターを計10基設置した。 散策コースの新島地区において、周辺との景観の調和を図るため護岸の擬石仕上工事及び防護柵設置工事を実施した。以上の取り組みより、来訪者が散策コースを気持ちよく回遊できる景観及び環境を整えることができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (H24年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (R3年度)
	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			71.3%	81.3%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	イベント時におけるアンケート調査で、107名中87名(81.3%)の方から与那原町の景観を観光地として「とても魅力的である」又は「魅力的」との回答を得られ、魅力的であると感じている方が80%を超え、目標を達成した。						

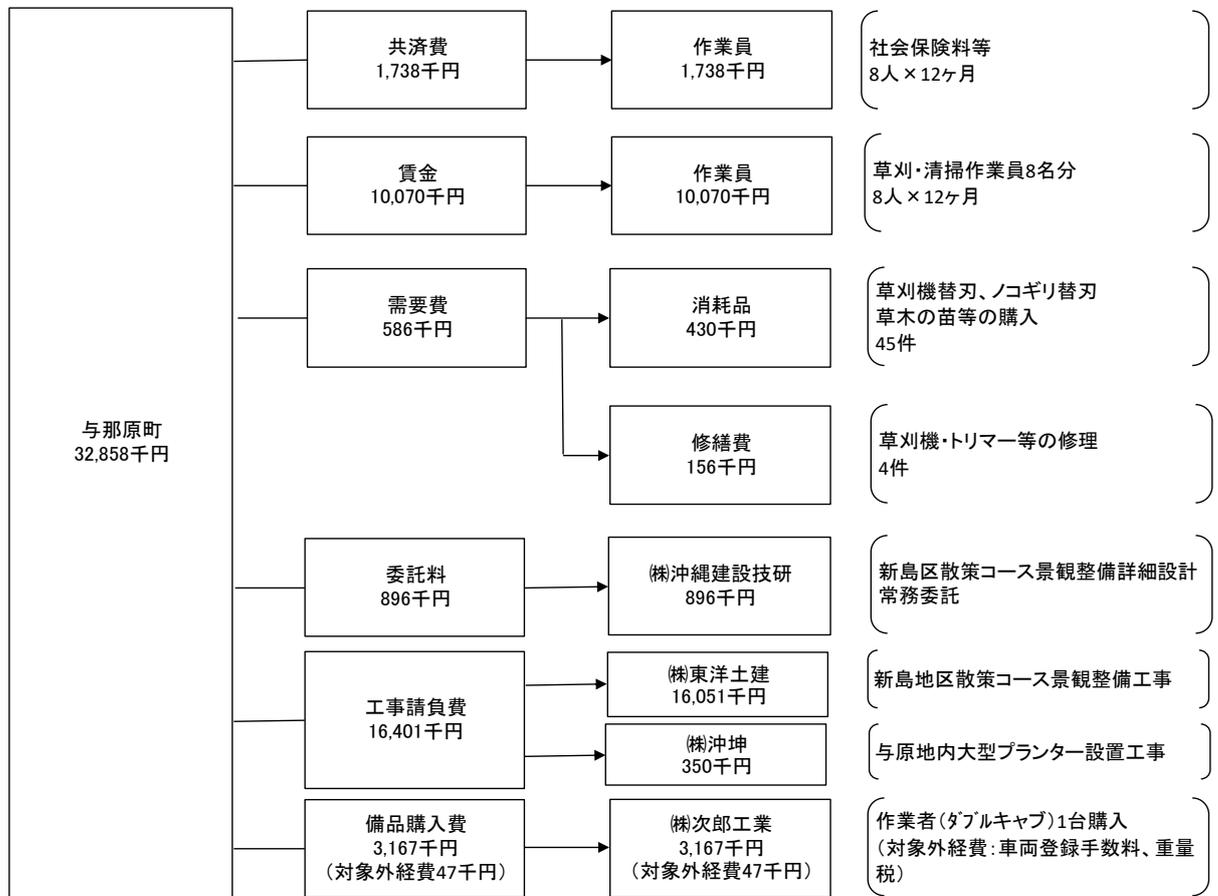
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 作業員8人の配置計画を検討したことにより、効率的に草刈・清掃を実施することができた。 賃金職員の賃金費や共済費などの予算の執行管理が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏場は雑草の伸びも早く、また悪天候により作業ができない日数も重なるため、イベント時期も同時期に開催されることもあり、重点的に作業する箇所や時期等をもう一度洗い出す必要がある。 予算に関して、他事業へ流用し不要な予算を減額したが、それでも不用額が出ているので、次年度はさらに予算の執行管理を徹底する必要がある。

今後の取り組み方針

・作業員8人については、作業車両を増台したので班編成を検討するなどし、作業計画を再度検討し効率的に作業を実施する。
 ・予算の執行管理を徹底し、不用額を減少させる。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
32,905	32,858	26,286	6,572	47



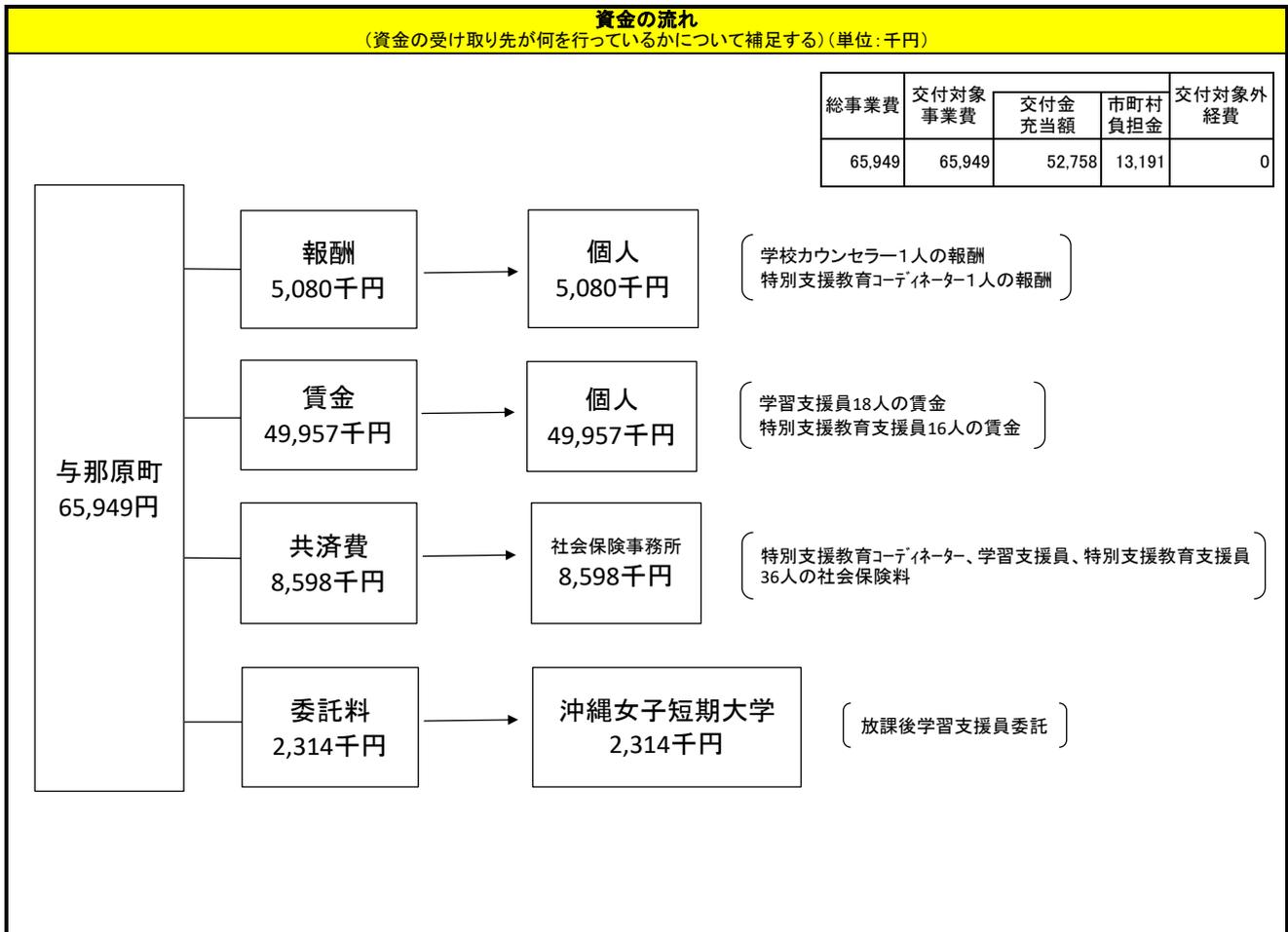
資金の流 れ、費 用 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負事業者は指名競争入札にて決定した為、妥当であると 考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても複数業者に見積もりを依頼し定めたもので あり、適正な規模となっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなの か等について額の確定時において支出等に関する書類により確 認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	タブレットを配置しているので、コンピュータ室以外の場所でも活用させたいが、無線LANのシステム導入が未整備のため、効果的に活用されていない状況がある。	無線LANのシステム導入を検討し、より効果的にICT機器が活用できる環境整備を行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
無線LANのシステム導入に向けては予算措置に課題があるが、具体的に検討してさらに効果的にICT機器が活用できる環境整備を進めたい。また、新学習指導要領で指導が始められるプログラミング教育について、教員の技術力に差異があることから、情報教育指導員を活用して教員の指導力向上研修を進める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,687</td> <td>6,687</td> <td>5,349</td> <td>1,338</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,687	6,687	5,349	1,338	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,687	6,687	5,349	1,338	0										
与那原町 6,687千円	報酬 3,904千円	→	個人 3,904千円	〔 情報教育支援員2人の報酬 〕										
	共済費 569千円	→	社会保険事務所 569千円	〔 情報教育支援員2人の社会保険料 〕										
	備品購入費 2,214千円	→	(有)ビジー・サービス 2,214千円	〔 小中学校タブレット備品購入 〕										
資金の流れ、点検評価	評価	点検項目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支援員については、応募者を面接により選定し、「与那原町教育委員会嘱託員設置規程」に基づき、任用しており妥当であり、備品購入については、指名競争入札により選定しており妥当である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○不用額は事業費の5%以下であり概ね適正な規模であったと判断した。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・用途については事業目的に必要であり、合致している。										
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	きめ細かな児童生徒支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習の遅れ気味な児童生徒に対し、学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。特別な支援を要する不登校の児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	(a) 当初予算額	63,194	77,688	91,130	90,911	74,887	
	(b) 予算現額	59,513	77,688	71,110	78,313	72,119	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,681	0	▲ 20,020	▲ 12,598	▲ 2,768	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	59,513	77,688	71,110	78,313	72,119	
	B. 執行済額	59,185	74,909	66,930	75,305	65,949	
	うち交付金充当額	47,348	59,927	53,544	60,244	52,758	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.4%	96.4%	94.1%	96.2%	91.4%	
予算の状況の説明	学習支援員、特別支援教育支援員について、年度当初からの人数の雇用確保ができず、予算2,768千円を減額した。不用額6,171千円は人件費での欠員期間・出勤実績による差額等。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	学習支援員18人配置	目標	(20人)	(20人)	(21人)	(18人)	
		実績	20人	20人	20人	18人	
	特別支援教育支援員16人配置	目標	(20人)	(26人)	(24人)	(16人)	
		実績	22人	26人	24人	16人	
	スクールカウンセラー1名配置	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
		実績	1人	1人	1人	1人	
	特別支援教育コーディネーター1名配置	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
		実績	1人	1人	1人	1人	
放課後学習支援員4名配置	目標	(4人)	(4人)	(4人)	(4人)		
	実績	4人	4人	4人	4人		
達成状況説明	支援員等の配置は、概ね目標を達成することができたが、通年での配置は出来なかった。 特別支援教育コーディネーターは定期的に学校訪問し、気になる児童生徒の指導方法の改善に関する助言等を行った。 スクールカウンセラーは定期的に学校訪問し、児童生徒の教育相談、保護者との面談等を行った。 学習支援員は授業で担任の指導の下、児童生徒に対して学習支援、補習指導を行った。 特別支援教育支援員は、気になる児童生徒の学習支援や学校生活支援を行った。 放課後学習支援員は、児童生徒の家庭学習が定着するために児童館における学習支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差5.4ポイント以上	目標	()	(小学校+0.3 中学校+5.4)	(小学校+0.3 中学校+5.4)	()	()
		実績		小学校-0.9 中学校-0.8	小学校+0.8 中学校+0.9		
	不登校児童生徒復帰率 10%以上	目標	()	(復帰率10%以上)	(復帰率10%以上)	()	()
		実績		復帰率11%	復帰率8.5%		
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	()	()
実績			92.8%	97.8%			
進捗状況説明	中学生においては、「沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差」の目標値を達成することができなかった。 「不登校児童生徒の復帰率10%以上」については、目標を達成することができなかった。原因としては、不登校生の増加である。今後は、不登校児童・生徒の復帰だけでなく、不登校を未然に防ぐ対策を検討する必要がある。 保護者の特別支援員への満足度は97.8%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄県の学力は上昇傾向にあり、全国学力調査の全国平均正答率との差は大幅に改善している(平成24年度▲2.6→平成29年度+3.2)。 求人おきなわ調べによる県内の平均時給は近年大幅に増えており(2013年769円→2017年873円)、現行の賃金では人材の確保が難しくなっている。 不登校については、親の理解不十分によって、協力が得られないケースもある。</p>	<p>有能な人材を必要数確保するため、適正な賃金や雇用条件について検討する必要がある。 不登校について、学校だけではなく、地域や関係機関と連携する手法について検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>学習支援員及び特別支援教育支援員については、適正な雇用条件について検討する。 不登校を未然に防ぐ対策としては、学習支援員や特別支援教育支援員の活用を検討する。また、学校だけではなく、地域や関係機関と連携する手法について検討する。</p>		



資金の流し、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○		支出先の選定方法は妥当か。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%を超えているため、次年度からは、予算の執行管理を見直し、必要に応じて早期に予算の減額を行う。
—		受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については事業目的に必要であり、合致している。
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7		
担当部課名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を必要とする園児に対し、密にかかわりそれぞれの特性に応じた支援を行うことで、幼稚園生活(集団生活、他児・他者とのかかわり等)や日常生活における困難の改善・得意な面のさらなる成長を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,291				
		(b) 予算現額	17,097				
		(c) 増減額(b-a)	4,806				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	17,097				
	B. 執行済額		15,882				
	うち交付金充当額		12,705				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.9%				
予算の状況の説明		特別支援教育支援員を5名増員したため、4,806千円増額した。 人件費での出勤実績や欠員により不用額1,215千円が生じ、執行率92.9%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援教育支援員 12名配置	目標	(12人)	()	()	()	
		実績	12人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初の計画どおり12名の特別支援教育支援員を配置した。 対象園児の様子を常に見守り、状況に応じた支援をすることで、園生活(社会性)・日常生活力の支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(年度)
	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		93.8%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	特別支援員への保護者の満足度93.8%と、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には目標を達成しているが、より園児に沿った支援を行うという面では、支援員の在り方について意見がうかがえる。 ・さまざまな障害種別・特性がある園児に対し、どの支援員によっても適切な支援が行われる必要がある。 ・人材の確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害による日々の状況を把握し、より園児に沿った支援を行うためには、保護者と情報を共有できる関係づくりが不可欠と思われる。登園時・降園時以外にも情報をやり取りできる機会を設けることが必要だと考える。 ・園全体での共通認識のもと支援を行うため、職員間の連携(管理職・担任教諭・他支援員)が必要である。障害に関する勉強会や情報共有会等を定期的に行う。職員一人一人の技量アップにもつながると考えられる。 ・人材確保のため、従来の方法に加え、新たな方法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な面、成長している面といった園と家庭それぞれでの様子はもちろんのこと、診断(定期検査)結果や治療内容等対象児の状態に関する情報も可能な範囲で保護者と共有できるよう、面談や調査票といった方法を検討する。 ・障害に関する基本的な知識を学ぶ(各機関が出しているリーフレット等)。また、教諭・支援員でのミーティングを定期的に行い、どういった支援ができるのか園全体で検討し実践する。 ・年度当初からスムーズな支援ができるよう人員を配置するため、ハローワークだけでなく大学等への求人を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
15,882	15,882	12,705	3,177	0

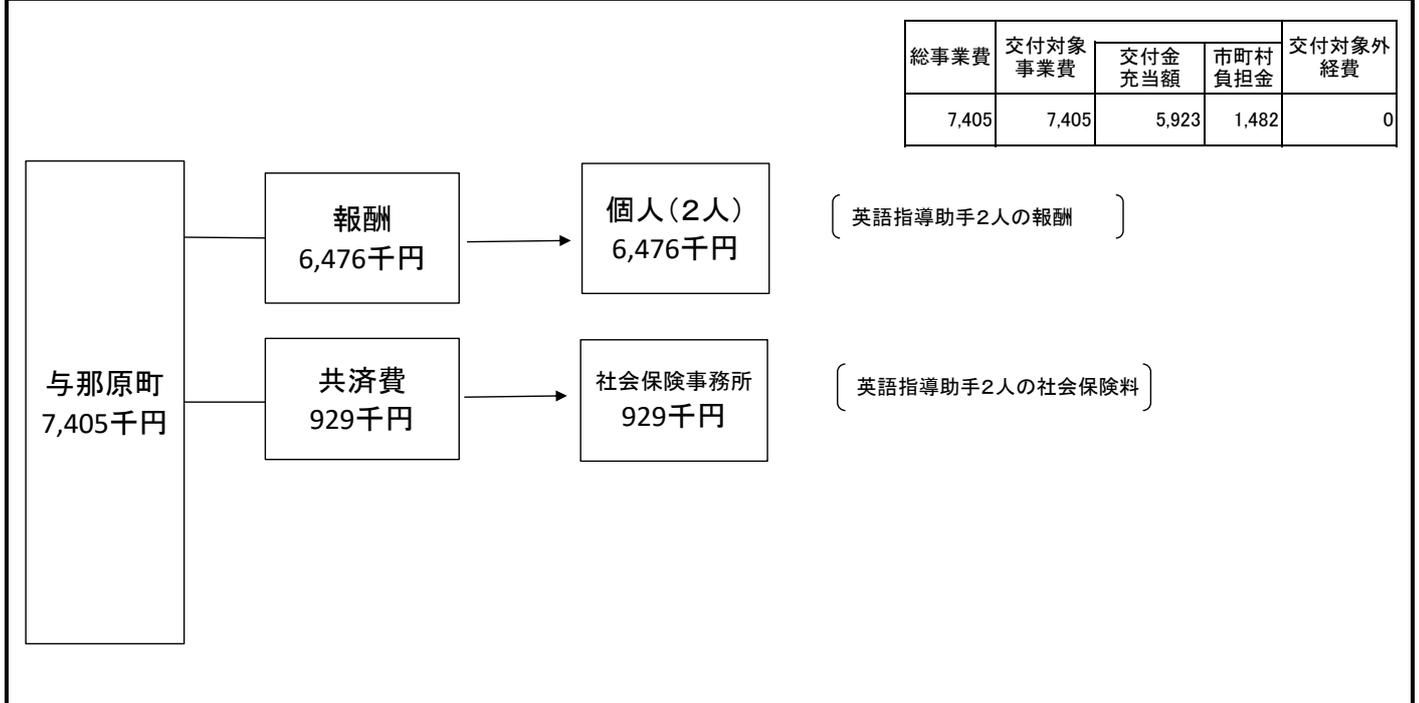


資金の流 れ、 検 査 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・選定については、応募者を面接により選定し、「与那原町臨時職員に関する規則」に基づき任用しており妥当。 ・予算規模については、前出の規則に基づき算定しており、適正な規模である。 ・費目・使途については、事業目的に必要であり合致している。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	国際理解人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童の国際的感覚や視点を身に付けることで、外国語への興味・関心を高め、人材育成へ繋げる為に、英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,487	8,922	9,662	12,267	9,320
		(b) 予算現額	6,489	8,922	9,403	12,267	7,752
		(c) 増減額(b-a)	2	0	▲ 259	0	▲ 1,568
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,489	8,922	9,403	12,267	7,752
		B. 執行済額	6,486	7,785	9,400	12,263	7,405
		うち交付金充当額	5,188	6,228	7,520	9,810	5,923
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	87.3%	100.0%	99.97%	95.5%
予算の状況の説明	当初計画では、英語指導助手2名に係る報酬費及び共済費並びに英語指導講師に係る報酬費としていた。英語指導助手2名に係る予算については、当初計画規模通り適切に執行した。英語指導講師については、応募者が無く執行が出来なかったため、英語指導助手で対応を行い、英語指導講師分の予算を1,568千円減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	英語指導助手2名配置 ※原則、小学3年生以上の授業の補助		目標 (2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
			実績	2人	2人	2人	
達成状況説明	英語指導助手(ALT)を2名雇用し、計画通り各学校に配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	()	()	()
			実績	72.5%			
	進捗状況説明	児童へのアンケートを行った結果「外国語への興味・関心が高まった」と回答した児童は72.5%と目標をやや下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケートは、小学校3年生及び5年生におこなった。 「外国語への興味・関心が高まった」と回答した児童の内訳は、3年生が89.3%、5年生が56.3%であった。	高学年へより外国語への興味・関心を持って貰うための指導手法について、検討が必要である。
今後の取り組み方針		
年代によって、外国語への興味・関心を持って貰うためにはどのような授業が効果的か模索していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語指導助手については、面接により選定し、「与那原町教育委員会嘱託員設置規程」に基づき、任用しており妥当であると判断している。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途については事業目的に必要であり、合致している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

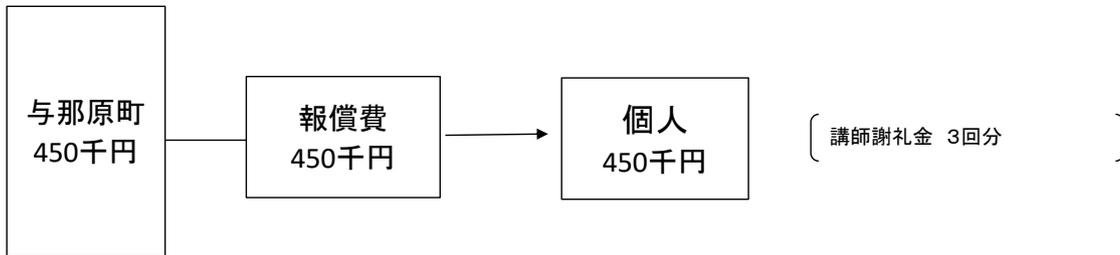
市町村名		与那原町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-⑤	豊かな心の教育推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
事業内容	児童生徒の創造力や表現力などの豊かな感性や、自主性、柔軟性などの豊かな心を育むために、著名人等による児童生徒向けの講演会を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
		3,000				
		450				
		▲ 2,550				
		-				
		450				
		450				
		360				
		0				
		100.0%				
予算の状況の説明	教育委員会で選定した講師による講演会を3回(報償費450千円)、各学校の要望により実施する講演会を3回(委託費2,550千円)予定していた。 教育委員会による講演会は予定どおり実施したが、学校の要望する講演会については、学校側と日程調整がつかず未実施となったため、委託料2,550千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		目標	(2小学校)	()	()	()
		実績	2小学校			
	目標	(1中学校)	()	()	()	
	実績	1中学校				
達成状況説明	教育委員会で選定した講師による講演会を各小中学校1回ずつの計3回実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(R3年度)
		目標	()	(80%)	()	()
	実績		86.6%			
	進捗状況説明	講演会を聞いて「将来への夢や希望を持つきっかけとなった」児童・生徒の割合は86.6%と目標を大きく上回った。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	教育委員会による講演会は予定どおり実施したが、学校の要望する講演会については、学校側と日程調整がつかず未実施となった。成果目標については、目標を上回った。	平成31年度以降は、教育委員会による講演会のみを計画するかどうか検討する必要がある。

今後の取り組み方針
学校の要望する講演会については、教育委員会による講演会の効果を踏まえて、後年度の開催を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
450	450	360	90	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○報償費については、講師謝礼金及び報償費協議により決定し、「与那原町講師等謝礼金及び報償費支給に関する規程」に基づき妥当であると判断している。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的に必要であり、合致している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	体力向上推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	児童生徒の基礎的な体力の向上や、たくましい体の育成のために水泳指導員の派遣を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		640				
			640				
			0				
			640				
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		560				
			448				
			0				
		執行率(%) (B/A)	87.5%				
予算の状況の説明	当初の予定通り予算を執行することができた。不用額80千円は、委託料の相見積もりによって当初予算額から減額となったもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	3,4年生の水泳授業へ水泳指導員の派遣(2小学校、各学年10授業)		目標 (2小学校、各学年10授業)	()	()	()	
			実績	2小学校、各学年10授業			
達成状況説明	各小学校(2校)の3,4年生の水泳授業へ水泳指導員を10授業ずつ派遣した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(R3年度)
	3年生:水に浮くことができる50%以上		目標 ()	(50%)	()	()	()
			実績	93.9%			
	4年生:25メートル泳ぐことができる30%以上		目標 ()	(30%)	()	()	()
			実績	36.2%			
	進捗状況説明	小学校3年生の水に浮くことができる児童について、目標の50%を大きく上回る93.9%を達成。 小学校4年生の25メートル泳ぐことができる児童について、目標の30%を上回る36.2%を達成。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	小学校3年生について、目標を大幅に上回って達成した。	小学校3年生について、目標の見直し又は、派遣授業回数の見直しを検討する。
今後の取り組み方針		
より効果的に児童の体力を向上できる手法について引き続き検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	560	560	448	112	0
<pre> graph LR A[与那原町 560千円] --> B[委託料 560千円] B --> C["(有)寿ランド 560千円"] subgraph Note D["水泳指導者派遣委託料"] end </pre>					
資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	△	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定については、執行までの期間が短かったため、随意契約となったが、委託料が500千円を超えているため、入札による選定が好ましかった。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模はほぼ見込み通りの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的に必要であり、合致している。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	ほっとハート子育て応援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児を、10人以上受け入れできる保育園に看護師を配置し、定員増を図る。 看護師を配置することで、定員増による安全性の確保をし、良好な保育環境を維持する。 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	3,000	2,100	2,100	2,700	3,000
	(b) 予算現額	1,900	2,100	1,800	1,800	950	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,100	0	▲ 300	▲ 900	▲ 2,050	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	1,900	2,100	1,800	1,800	950	
	B. 執行済額	1,800	1,650	1,678	1,750	700	
	うち交付金充当額	1,440	1,320	1,342	1,400	560	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.7%	78.6%	93.2%	97.2%	73.7%	
予算の状況の説明	当初、5施設に看護師を配置することを目標としていたが、2施設に変更した為、2,050千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	<ul style="list-style-type: none"> 認可保育所への看護師配置 7施設中1施設(各1名配置) 年度途中1施設(1名配置) 	目標	(4施設)	(4施設)	(5施設)	(2施設)	
		実績	3施設	3施設	3施設	2施設	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 当初、5施設に看護師を各1名配置予定だったが、看護師採用が見込めず、2施設に変更となった。 2施設で看護師を配置したことにより、0歳児6人の受入増員が図られた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(H23年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	看護師を配置したことによる0歳児待機児童数15人以内※各年度10月時点の待機児童数	目標	(24人)	(27人)	(27人)	(26人)	()
		実績		44人	41人	65人	
【参考指標】0歳児の認可園受け入れ数	目標	()	(75人)	(72人)	(72人)	()	
	実績		72人	76人	65人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 看護師配置を行った2園では、24人の受入が行われ、6人の増員が図られた。0歳児の待機児童数、受入人数は共に目標未達成となっている。 保育士の育児休暇等があったが、代替の保育士の採用に至らず、定員受入出来ていない園があることも未達成の要因である。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師採用が見込めず、当初目標の5施設から2施設に目標変更。 ・求人募集を継続しているが、勤務内容や賃金等の面に課題があり、応募が乏しい状況。 ・保育士が育児休暇等になるも代替保育士が確保出来ず、9人まで受入出来ていないケースもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人広告の記載情報等について見直す必要がある。 ・応募の資格要件を見直す必要がある。 ・看護師の処遇面について特殊手当等の加算が必要と思われる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・各園から沖縄県保育士・保育所総合支援センターに、求人広告の記載情報等について助言を求める。 ・准看護師についても積極的に採用するよう促す。 ・各園において、看護師の特殊手当等の加算について検討するよう求める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
700	700	560	140	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、補助金交付規則に基づき、町内すべての法人認可保育園へ周知し、事業実施保育園を選定しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模(補助金額)についても保育士給与と看護師給与の差額(月額5万円程度)となっており、適正な予算規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は、保育園からの支出書類(給与明細)等を確認しており、事業目的に即した真に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-1	
担当部課名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実	
事業内容	公立幼稚園において、給食提供時に配膳支援員を配置し支援することで、園児の食事マナーや偏食の改善等を図り、家庭における保護者の負担軽減につなげる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
		(a) 当初予算額	4,497	18,150	12,972	1,170	
	(b) 予算現額	4,497	18,150	11,674	1,170		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,298	0		
	(d) 繰越額	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	4,497	18,150	11,674	1,170		
	B. 執行済額	4,208	17,886	11,569	432		
	うち交付金充当額	3,366	14,308	9,255	345		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	93.6%	98.5%	99.1%	36.9%		
予算の状況の説明	当初目標としていた人員配置に満たず、結果として不用額738千円、執行率36.9%となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
	公立幼稚園2園7クラスに配膳支援員を配置し、給食を安心安全に提供する。	目標	()	()	(7クラス)	()	
		実績			4クラス		
	【参考指標】 幼稚園給食配膳支援員配置	目標	(4名配置)	(3名配置)	()	()	
実績		4名配置	3名配置				
達成状況説明	当初、公立2園7クラスへの配置を目標に求人を出したが応募が少なく、園児数が多い園(4クラス)へ2名を配置した。目標を達成することはできなかったが、配置した園では給食時の配膳支援を行うことで効率よく配膳され、安心安全な環境下での食事をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(年度)	
			()	(負担軽減 80%)	(負担軽減 80%)	()	()
	給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	(負担軽減 80%)	(負担軽減 80%)	()	()
		実績		負担軽減 70.8%	負担軽減 71%		
	【参考指標】 ・夏季期間(6月～10月)において、日中の園児の室外活動時間90時間	目標	()	()	(90時間)	()	()
実績				145時間			
進捗状況説明	【アンケート検証】 給食時に支援を行うことで、食事マナーや配膳の改善がみられるが、目標値には達していない。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【アンケート検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配膳支援員の配置について、公立2園へという目標を下回っており支援が行き渡っていない。 園児それぞれの個人のペースや家庭における養育方針によってはなかなか改善されない状況もある。 改善状況を計ることができるアンケートでなければならない。 	<p>【アンケート検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立2園への適切な数の配膳支援員配置に努める。 給食時の園児の状況について、支援員間で情報共有することが不可欠である。また、給食の献立表配布や食育月間等の機会が保護者(家庭)に向けた啓発・助言等につながると考えられる。 現状をより把握できるようなアンケートを実施する必要がある。

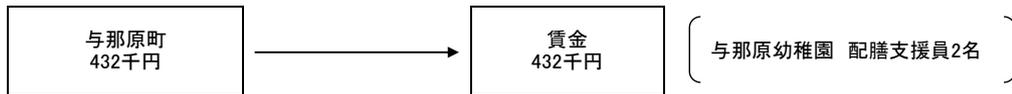
今後の取り組み方針

【アンケート検証】

- 配膳支援員を2園に配置するため、従来の求人方法に加え、町内各団体への働きかけ等を検討する。
- 支援員間で定期的に情報共有を行い、支援目標・重点項目等統一した見解のもと支援を行う。
- 献立表や食育月間の展示等で、材料や栄養バランスを示し、保護者への啓発・助言等につなげる。
- アンケートの実施方法や内容を見直す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
432	432	345	87	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 選定については、ボランティア組織等に公募し、「与那原町賃金職員管理規定」に基づき任用しており妥当。 予算規模については、前述の規定に基づき算定しており、適正な規模である。 費目・使途については、事業目的に必要であり合致。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	農業用被覆資材等導入推進補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	沖縄県では、地理的な要因により、台風の襲来、塩害、強い日射等により農作物に大きな被害が出ている。そのため、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(b) 予算現額	1,000	1,000			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計(b+d)	1,000	1,000			
	B. 執行済額		716	566			
	うち交付金充当額		572	453			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		71.6%	56.6%			
	予算の状況の説明		当初、8名に補助を行う予定だったが、7名の農家に対して補助を行うことができた。不用額434千円は、農家の計画変更による減額である。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。		目標 (7件)	(8件)	()	()	
			実績	6件	7件		
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	台風等の自然災害や病害虫等の軽減のため、ビニールハウス用のビニールやネット等を設置する農家に対し、補助を行った。8件の申請があったが、農家7件の実施となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	ゴーヤー出荷量(単位:kg)		目標 ()	()	(ゴーヤー2,500 マンゴー1,300)	()	()
	マンゴー出荷量(単位:kg)		実績		ゴーヤー1,885kg マンゴー2,805kg		
	【参考指標】 被覆資材の導入により台風等の自然災害、病害虫等の被害を軽減し、ゴーヤー、インゲンは平成27年度の実績より4%、マンゴーについては、平成28年度の実績より2%A秀品率向上を図る。		目標 ()	()	マンゴー 8% ゴーヤー35% インゲン25%	()	()
			実績		マンゴー2.5% ゴーヤー90% インゲン84%		
進捗状況説明	ゴーヤーは、H30年度目標2,500kgに対し、1,885kgの実績で615kg目標に達しなかった。マンゴーについては、H30年目標1,300kgに対し、2,805kgと1,505kgと大幅に目標を達成した。H30年度は、7月に台風24号、25号が連続して沖縄本島に接近したため出荷量に多少影響があったと考えられる。事業実施に伴い農家の意欲も高まり全体的に生産量の増加につながっている。						

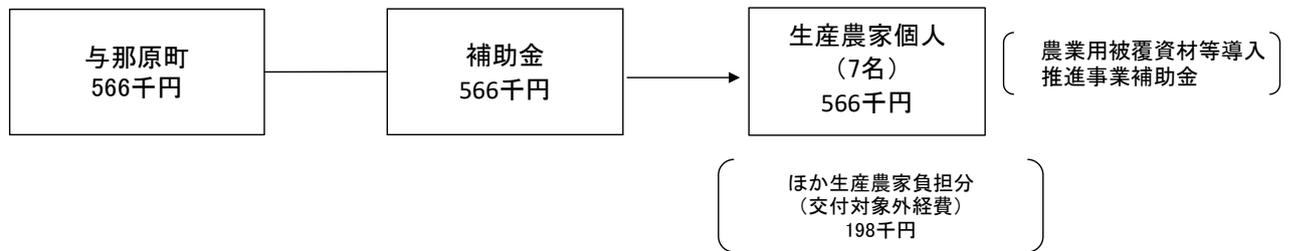
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度は台風の接近が例年より多くあったため、ゴーヤーの出荷量に大きく影響したと考えられる。 ・沖縄本島に直撃した台風は数年ぶりだったため、防風対策が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの防風ネット設置やハウスを守る防風柵等の風対策を考慮した施設導入の検討が必要。 ・台風襲来を見据えた、防風ネット等の対策が必要。

今後の取り組み方針

農家やJAとの調整も踏まえながら、防風対策に必要な資材等の検討と台風時に被害を最小限にする方策等を検討し、農家に周知する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
566	566	453	113	198



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農家の選定方法は、出荷状況を踏まえ、農協と連携し必要な農家を選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○農家数や営農状況を勘案し、妥当な規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者の農家は、2割の負担をしており、他の同様の事業負担割合から判断しても妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目や用途については、生産段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5	与那原町海外友好親善大使人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
	担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-7	
事業内容	与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び陶芸や空手、三線といった研修等を行い、本町の文化と歴史を学ぶ。また、小中学生との交流会を通して、小中学生に国際交流について関心を持たせる。本町での研修成果を活かし、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、PR大使として友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,977	3,009	2,047	2,296	
		(b) 予算現額	2,817	2,011	2,005	1,815	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,160	▲ 998	▲ 42	▲ 481	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		2,817	2,011	2,005	1,815	
	B. 執行済額		2,542	1,623	1,949	1,713	
	うち交付金充当額		2,033	1,298	1,559	1,370	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		90.2%	80.7%	97.2%	94.4%	
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・日本語研修及び文化研修が当初予定していた回数より少なくなったため報償費が114千円減額。 ・消耗品が当初見積りから減額したため、需用費が24千円減額。 ・航空運賃が見積りより減額したため、渡航事務委託費が260千円減額。 ・研修生の希望を考慮し琉球舞踊研修を未実施にしたことによる着物レンタル料の減額(30千円)及びレンタルWi-Fiを1台減らしたことによる減額(17千円)のため、使用料及び賃借料が47千円減額。 ・滞在期間が当初予定より短くなったため、滞在補助金が36千円減額。 合計481千円を減額した。 					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	研修生の受入れ 2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)	
		実績	2名	2名	2名	2名	
	交流会の実施 2回	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	
		実績	4回	6回	4回	10回	
	【参考指標】 帰国後の研修報告会:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
		実績	0回	1回	2回	1回	
	【参考指標】 与那原町における交流会でのアンケート実施	目標	()	(アンケート実施)	(アンケート実施)	(アンケート実施)	
		実績		アンケート実施	アンケート実施	アンケート実施	
【参考指標】 帰国後の研修報告会でのアンケート実施	目標	()	(アンケート実施)	(アンケート実施)	(アンケート実施)		
	実績		アンケート実施	アンケート実施	アンケート実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・海外移住者子弟研修生受入については、ペルーから2名の研修生を受け入れた。 ・児童生徒・町民との交流会については、町内小学校2校と中学校1校を訪問し、異文化交流を図ることができた。町青年会や町職員など地域との交流も積極的に行い、研修生の日本語向上、地域住民の移民に対する知識向上及び国際交流への関心を深めることができた。特に今年度は、各行政区の秋まつり等にも参加し、より身近な交流をすることができた。 ・帰国後の研修報告会については、在ペルー与那原町人会で研修生が自ら作った作品や写真の紹介、また、空手の実演などの研修報告を行った。町人会では、研修生を通して故郷と那原町の現状と発展を知ることができ、今後の町人会活動や沖縄文化の継承・発展への新たな一歩となる報告会となった。 					

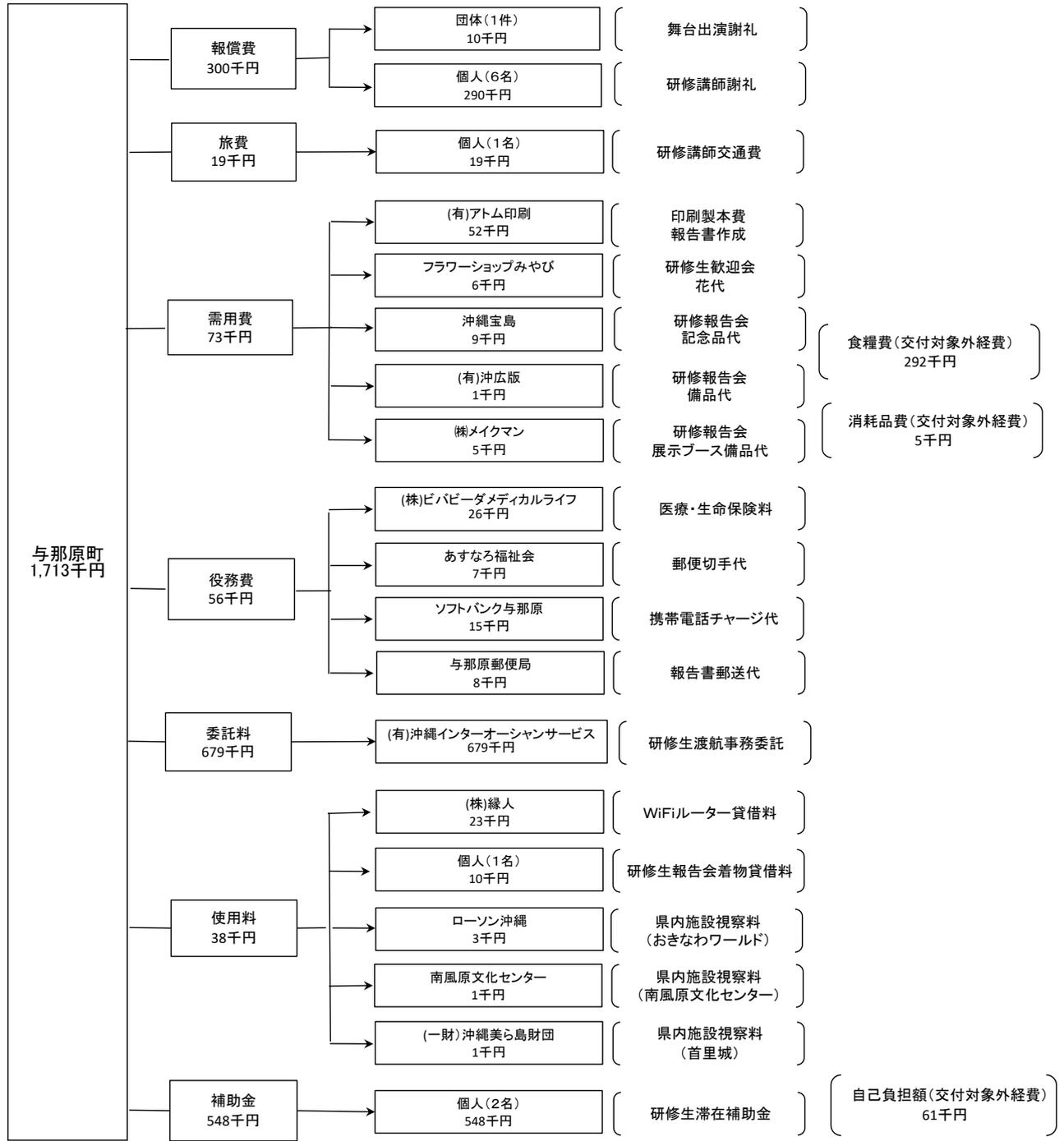
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (年度)
	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する	目標 ()	()	()	()	(80%)
	実績				80%	
【参考指標】 与那原町での交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合:95%	目標 ()	(70%)	(70%)	(95%)	()	
	実績		97%	95%	90%	
【参考指標】 帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合:95%	目標 ()	(70%)	(70%)	(95%)	()	
	実績		100%	100%	100%	
【参考指標】 PR大使としての活動	目標 ()	(PR大使)	(PR大使)	(PR大使)	()	
	実績		日本語の普及活動 伝統芸能等の普及活動	各国町村会にて 文化普及活動	各国町村会にて 文化及び当研修事業の普及活動	
進捗状況説明	<p>・町内小・中学校での交流会を通してアンケートを実施した。370名からの回答を集計した結果、90%の児童生徒から「国際交流に関心がある」との回答を得られた。例年の結果から目標値を高く設定したため、5%の乖離が見られたが概ね目標に近い数値が得られた。中学校における数値が最も低かったため、交流会の内容が児童向けだったのではないかと考えられる。</p> <p>・帰国後の研修生によるアンケート実施については、報告会に来た全員から沖縄・与那原に興味があるとの回答を得ることができ、沖縄文化や当研修事業へ関心度を高めることができた。</p> <p>・PR大使としての活動では、研修で得た知識や経験を活かし、町人会の行事に中核として関わり、沖縄・与那原の文化普及活動に努めている。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<ul style="list-style-type: none"> ・町内小・中学校で行ったアンケート結果が目標を下回ったことについて、移民やその子弟と交流するという意義が伝わらなかったことがあると考える。 ・親せき宅にホームステイできなかった際の職員の負担が大きい。準備などに時間と労力をとられ、研修内容の確認や進捗状況確認に支障がでる。 ・研修生の資格要件のうち「町内身元保証人」がおらず推薦を断念する国もあった。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校での交流会について、担当課と連携をとり、事前に移民や国際交流についての説明やプリントの配布をするなどし、より効果的な交流実施に取り組む。 ・町内宿泊施設の目星をつけ、宿泊地選定をスムーズに行うことを目指す。 ・本事業の実施規定を修正し、幅広い人材の受入れを目指す。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,071	1,713	1,370	343	358



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業については、レート価格の変動及び社会情勢等により渡航費を算出することが困難であるため、南米渡航コーディネートを専門とする3業者に見積もりを依頼し、随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、渡航費を3社見積りし、比較検討していることや、講師報酬費を町規程に基づいていること等から適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である研修生の個人負担分は、与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱に基づいており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、精算段階で検査を実施し、目的に即し必要なものと判断した。

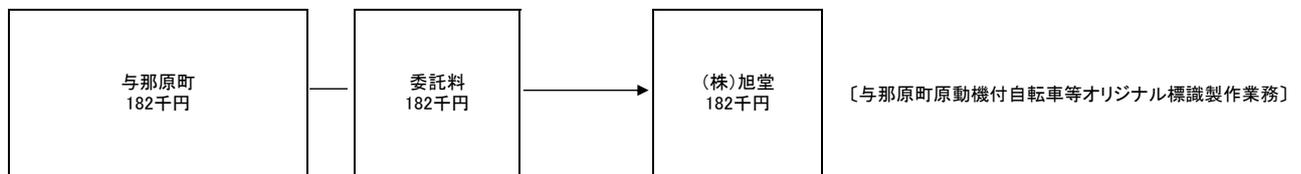
市町村名	与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	走る・よなばる・PR事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部課名	税務課	事業実施(予定)年度	平成29~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	オリジナルナンバープレートを活用し、本町の観光資源等を町内外へアピールするため、公募により選定された絵柄を基にオリジナルナンバープレートを製作する。製作に当たっては、従来の標識にはない「発光塗料」を使用し、交通安全の一助となるよう工夫し、付加価値を高める。事業の周知を図るため、町広報誌や町HP等を活用しPRを行う。また、周知度についてアンケートによる調査を行い、PR方法について検証する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,414	199			
			1,356	199			
			▲ 58	0			
			-	-			
			1,356	199			
		B. 執行済額	1,336	182			
		うち交付金充当額	1,068	145			
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	98.5%	91.5%			
	予算の状況の説明	不用額17千円については、製造単価の減額によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	
	与那原町原動機付自転車等オリジナル標識を400枚製作する	目標	(1,500枚)	(400枚)	()	()	
		実績	750枚	400枚			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	当初計画に基づき予定していた事業内容をすべて実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	・観光客へのアンケート オリジナル標識での与那原町の認知度(50%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(50%)	()	()
		実績			40%		
	【参考指標】 ・PR活動 四半期ごとに町広報誌(全世帯配布)や町HPへ周知記事の掲載を行いPR活動を行った。また、税務課窓口・総務課内でサンプルを掲示し、来庁者に対してPRを行った。	目標	()	(2回開催) PR活動4回	(4回HP掲載やサンプル掲示は常時)	()	()
		実績		選定委員会2回開催 PR活動4回	広報誌4回HP掲載やサンプル掲示は常時		
進捗状況説明	・町内イベントにおける来場者(観光客含む)へのアンケート調査において認知度は40%と目標を下回った。 ・広報誌4月号、8月号、1月号、3月号に4回掲載し、4月号については表紙一面にも掲載した。 ・HPへの掲載やサンプルの掲示は常時行うことができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回答のうちナンバープレートの印象について「与那原大綱曳」が58%、「大綱曳」41%となっておりオリジナルナンバープレートから受ける印象は目的が正確に伝わっていると言える。 アンケート回答より、「見たことはないが、知っている」と回答したの者が4割弱いため、オリジナルナンバープレートを見る機会が少ないと言える。 すでに標準標識の交付を受けている方の標識交換は35件にとどまっており、周知不足と言える。 	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルナンバープレートを見かける機会を増やすためには、既に標準標識を使用している方への標識交換を推進していく必要がある。 PRの方法は本来の趣旨・目的が伝わり、協力を得られるような記事を検討する必要がある。 さらに広範囲なPRの方法を活用する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 事業の周知はこれまでのPR方法に加え、主要道路沿いにある電光掲示板や、SNS、等で自然と視界に入る広報や広範囲への発信を取り入れる。 交付台数を新規登録だけでなく、標識交換によりオリジナルナンバープレートの交付台数を増やす。 標識交換への周知は年度当初の納税通知書の封筒に印刷するなどしてPRする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
182	182	145	37	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度に一般競争入札により金型(1,020,600円)を製作した事業者との随意契約(地方自治法施行令第167条の2第1項第1号及び与那原町契約規則第25条)は妥当であったと考えている。 ○事業内容・オリジナルナンバープレートの単価含め、適正な規模であった。 ○費目、用途については目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

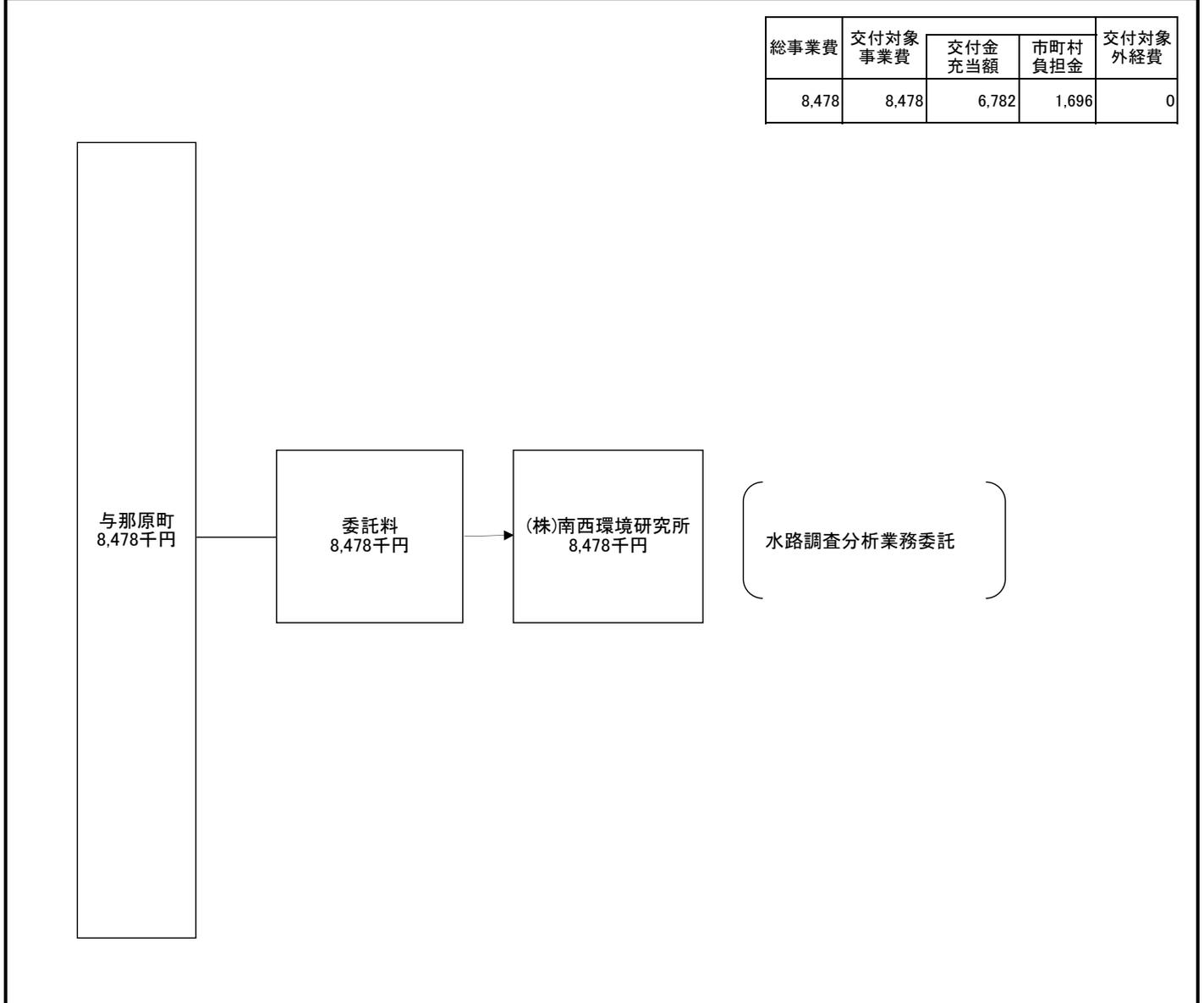
市町村名	与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7	災害対策備蓄整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)			
担当部署名	生活環境安全課	事業実施(予定)年度	平成28~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	避難施設における被災者の長期避難生活を想定し、非常用食料、寝具類等を計画的に整備し、災害に強いまちづくりの実現を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	
	(a) 当初予算額	3,678	1,004	1,304			
	(b) 予算現額	3,678	1,292	1,304			
	(c) 増減額(b-a)	0	288	0			
	(d) 繰越額	-	-	-			
	A. 計(b+d)	3,678	1,292	1,304			
	B. 執行済額	3,591	1,088	1,059			
	うち交付金充当額	2,872	870	846			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	97.6%	84.2%	81.2%			
予算の状況の説明	不用額の245千円については入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	・非常用食料	目標	(1680食)	(1680食)	(1680食)	()	
		実績	1680食	1680食	1680食		
	・粉ミルク	目標	(19缶)	(14箱)	(14箱)	()	
		実績	19缶	14箱	14箱		
	・粉ミルク(アレルギー対応)	目標	(1缶)	(1缶)	(1缶)	()	
		実績	1缶	1缶	1缶		
	・保存水	目標	(1032本)	(1032本)	(1032本)	()	
		実績	1032本	1032本	1032本		
	・発熱セット	目標	()	(27セット)	(27セット)	()	
		実績		27セット	27セット		
	・発熱剤	目標	()	(100個)	(100個)	()	
実績			100個	100個			
・使い捨て哺乳瓶セット	目標	()	(27セット)	(27セット)	()		
	実績		27セット	27セット			
・ビスケット	目標	()	()	(5箱)	()		
	実績			5箱			
達成状況説明	・非常用食料、保存水の目標個数を達成。 ・甘味料としてビスケット(5箱)を今年度より整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	町内避難者及び観光客等の備蓄率	目標	()	()	()	(60%)	()
		実績				60%	
	【参考指標】 H32年度目標量(8,400食)の3/5の達成	目標	()	(備蓄食料 1680食)	(備蓄食料 1680食)	()	()
		実績		備蓄食料 1680食	備蓄食料 1680食	備蓄食料 1680食	
進捗状況説明	平成32年度迄の5力年間計画に対し、平成30年度目標の1,680食を整備し、町内避難者及び観光客等の備蓄率の目標60%を達成した。						

市町村名		与那原町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	8	東浜水路観光創造水質浄化整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ア)	
担当部課名	生活環境安全課		事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本町では、東浜水路を活用した観光振興を計画しているが、同水路の水質は流入河川等による汚濁を受け、その活用において支障となる可能性がある。そのため、平成29年度に作成した「与那原町東浜水路調査分析委託業務 報告書」に基づき、水質予測モデルの構築を行い、水質改善対策の効果を検討し、水質改善事業計画を立案する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2 年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	31,731	8,748		
	(b)予算現額	28,117	8,748			
	(c)増減額(b-a)	▲3,614	0			
	(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)	28,117	8,748			
	B.執行済額	26,676	8,478			
	うち交付金充当額	21,340	6,782			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	94.9%	96.9%			
予算の状況の説明	不用額270千円は入札残によるもので、当初の計画通り予算執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
	東浜水路浄化対策手法を検討するため、協議会を開催し、アクションプランを作成する。	目標	()	(アクションプラン作成)	()	()
		実績		アクションプラン作成		
	【参考指標】 東水路浄化のための調査・分析及び調査報告のとりまとめ	目標	(報告書のとりまとめ)	()	()	()
実績		報告書のとりまとめ				
達成状況説明	・当初予定していた通り、水路浄化に向けてのアクションプランを作成することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(R2年度)
		目標	()	(アクションプラン策定の完了)	()	()
	実績		アクションプラン策定の完了			
	【R2年度成果目標】 東浜水路イベントに参加した環境客数440人以上。	目標				440人以上
進捗状況説明	・昨年度作成した報告書を元に、水路内の水質変動シミュレーションを構築し、そのシミュレーションにおいて水質改善に最も有効な対策を選定し、アクションプランを策定した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 水質改善対策には多額の費用が掛かるため、東浜水路を管轄している沖縄県、隣接関係自治体と更なる協議が必要になる。 水質悪化要因の一つには、下水道の未接続や、浄化槽の不適切管理があげられており、町民一人一人の意識改革が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 東浜水路を管轄している沖縄県や、隣接関係自治体と更なる連携を図り、水質浄化に向けて一体となって取り組む必要がある。 町広報や、水環境に関する学習会を開催し、町民一人一人の意識改革を行う必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 東浜水路を管轄している沖縄県や、隣接関係自治体と更なる連携を図り、水質浄化に向けて一体となって取り組む。 町広報や、水環境に関する学習会を開催し、町民一人一人の意識改革を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

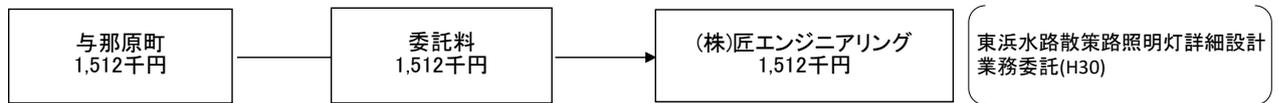
市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9	東浜水路散策路照明灯設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光誘客を図るため、中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間の東浜水路沿いに景観に配慮した照明灯を設置する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,250	2,500			
		(b) 予算現額	24,028	1,512			
		(c) 増減額(b-a)	▲222	▲988			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計(b+d)	24,028	1,512			
	B. 執行済額		22,712	1,512			
	うち交付金充当額		18,169	1,209			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		94.5%	100.0%			
予算の状況の説明		・詳細設計費用の減額及び入札残により、988千円事業費を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	東浜水路散策路整備実施設計(与那原地内、距離:602m)	目標	(1,346m)	(602m)	()	()	
		実績	1,346m	602m			
	【参考指標】 照明灯設置工事	目標	(25基)	()	()	()	
実績		20基					
達成状況説明	・602mの実施設計については、全て完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	東浜水路散策路照明灯整備実施設計完了	目標	(-)	(100%)	(実施設計の完了)	(-)	(-)
		実績		100%	実施設計の完了	-	
	【R2成果目標】 東浜水路イベントに参加した観光客数440人以上。		目標				440人以上
進捗状況説明	・実施設計について年度内に完了したため、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 整備完了後も多くの観光客が訪れるように、夜間イベントを継続し、定着させることが今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> H30年度は与那原大綱曳まつり、ゆかた祭り、よんなーみずべのマルシェなど5回イベントを開催した。夜間イベントを継続・定着させるため、担当課を交えての検討が必要である。 幅広い年齢層の観光客を誘致するため、新たな夜間イベントの実施の検討が必要である。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 東浜水路周辺を観光ルートとし広く知ってもらうため、引き続き周知や夜間のイベントを積極的に実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,512	1,512	1,209	303	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札にて決定した為、妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても複数業者に見積もりを依頼し定めたものであり、適正な規模となっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10	与那原町大型ビジョン活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部課名	公共施設課	事業実施(予定)年度	平成29~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	東浜地区の中心に大型電光掲示板を設置し、来訪者や町民に本町のイベントや観光スポット、特産品等を紹介する情報を発信することで観光誘客を図る。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,020	65,000				
		(b)予算現額	4,020	61,578				
		(c)増減額(b-a)	0	▲3,422				
		(d)繰越額	-	-				
		A.計(b+d)	4,020	61,578				
	B.執行済額		3,974	61,077				
	うち交付金充当額		3,179	48,861				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		98.9%	99.2%				
予算の状況の説明		・工事の入札残により、3月補正で3,422千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	H29年度	H30年度		
	大型ビジョン整備工事	目標	()	(大型ビジョン設置整備工事の)	()	()		
		実績		大型ビジョン設置整備の実施				
	大型ビジョン用観光プロモーションビデオ制作委託	目標	()	(コンテンツ制作委託)	()	()		
		実績		観光情報コンテンツ制作委託の実施				
【参考指標】 実施設計の着手	目標	(実施設計)	()	()	()			
	実績	実施設計						
達成状況説明	・大型ビジョン整備工事については表示画面寸法(縦2.88m、横5.12m)の大型ビジョン1基を整備した。 ・観光プロモーションビデオについては、与那原町の観光スポット等を紹介するコンテンツを制作した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)	
	大型ビジョン設置の完了	目標	()	()	(設置完了)	()	()	
		実績			設置完了			
	観光情報コンテンツ作成の完了	目標	()	()	(作成完了)	()	()	
		実績			作成完了			
	【参考指標】 実施設計の完了	目標	()	(実施設計完了)	()	()	()	
		実績		実施設計完了				
	【参考指標】 電光掲示板の活用に向けた課題の抽出	目標	()	(設置場所の選定)	()	()	()	
実績			設置場所の決定					
【R1成果目標】 主要観光施設来場者数90,000人	目標					90,000人		
進捗状況説明	・平成31年度からの供用開始に向けて、平成30年度で大型ビジョンの設置および観光情報コンテンツ制作を完了した。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【設置工事およびコンテンツ制作委託】 ・平成31年度の供用開始に向けて、工事および委託の発注を早期発注したことが目標達成の要因と考えられる。 【平成31年度成果目標】 ・平成31年度からの供用開始に伴い、成果目標を達成できるかが今後の課題である。	【設置工事およびコンテンツ作成委託】 ・工事および委託については早期発注に向けた設計書の作成等の取組を行ったことで、目標を達成した。 【平成31年度成果目標】 ・平成30年度で制作した観光情報コンテンツ以外に、観光誘客も含めた主要観光施設来場者数の増加に繋がる情報発信を検討する必要がある。
	今後の取り組み方針	
	【設置工事およびコンテンツ制作委託】 ・今年度、設置した大型ビジョンおよび制作したコンテンツを活用して、来訪者や町民に本町のイベントや観光スポット、特産品等を紹介する情報発信を継続的にを行い、観光誘客を図っていく。 【平成31年度成果目標】 ・制作した観光情報コンテンツ以外にも一年を通して、それぞれの時期に開催されるイベント等の情報発信も随時行い、成果目標達成に向けて取り組んでいく。	

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61,077</td> <td>61,077</td> <td>48,861</td> <td>12,216</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	61,077	61,077	48,861	12,216	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
61,077	61,077	48,861	12,216	0										
	与那原町 61,077千円	役務費 12千円 (工作物完了検査手数料(完了時))												
		委託料 963千円	(株)MARUKIN 963千円 (大型ビジョンサイネージコンテンツ制作業務)											
		工事請負費 60,102千円	(有)アサト電気・(株)共立実業 特定建設工事共同企業体 60,102千円 (大型電光掲示板設置工事)											
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託および施工の受注業者は指名競争型入札により選定しており、妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の約1%であり、概ね適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正である。											
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11	与那原町就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-イ		
担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用促進 Ⅲ-2		
事業内容	企業、学校・教育機関、地域、行政等の各主体が連携により、町内小中学校の発達段階に応じた適切な就業観・勤労観を育むカリキュラムを導入し、児童生徒に自発的な就業意識を持たせる取組を行う。また、中学校卒業後に進学または就職していない若年者層に対して、関係機関と連携してキャリア教育を実施することにより、就学・就職につなげる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		16,200				
			16,200				
			0				
			-				
			16,200				
		13,779					
		11,023					
		0					
		執行率(%) (B/A)	85.1%				
	予算の状況の説明	当初の事業計画に基づく与那原町地域雇用連携推進協議会からの補助金申請に対し、補助金を概算払いと事業実績報告の際に事業内容、関係証憑等を精査したうえで精算払いを行った。不用額は、当該協議会から委託を受けた民間の委託業者の人件費の減額や委託に係る入札残により2,421千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	・町内小中学校でのジョブシャドウイングの実施	目標	(2回)	()	()	()	
		実績	2回				
	・わくわくワークの実施	目標	(2回)	()	()	()	
		実績	2回				
	・就業支援	目標	(一式)	()	()	()	
		実績	一式				
	・過卒生支援	目標	(一式)	()	()	()	
		実績	一式				
達成状況説明	・町内2ヶ所の小学校でのジョブシャドウイングの実施、小学生を対象にわくわくワークを夏と冬に2回開催、中学生が主体となった「わくわくワーク(ドリームアイランド)」を中学校体育館で開催し教育講演会や職の体験ブースを設けてイベントを行なった。就職支援では「グッジョブよなばる(事務所)」や「役場ロビー(週2回程度)」での就業支援や相談窓口を開設。就職案内の掲示板には随時、町内外から寄せられる求人票や各訓練校からの訓練生募集案内等掲載した。ハローワークや民間事業者と連携して「求人票閲覧会」や職業人講話も行ってきている。過卒生支援に関しては「過卒生になりそうな生徒」の現状把握・ニーズに合わせた支援を行い、事前学習から企業訪問、振り返り授業ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(年度)
	・就職支援者の就業率20%以上	目標	()	(20%以上)	()	()	()
		実績		25.7%			
	・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		90%			
	進捗状況説明	・相談実数は66名、延べ133名の相談があった。追跡調査や本人確認を行った結果、15人の方がパートやアルバイトなど、2人の方が正職員として採用され、合計17名の方を就職に導いた。 ・アンケートの実施には小学校のジョブシャドウイング(2校)や中学校の職場体験(1校)の事前・直後・事後にアンケートをとっており、いずれにおいても「将来、仕事をするのが楽しみ」という項目で事前評価を事後評価が上回り、3校の平均が90%という結果となった。					

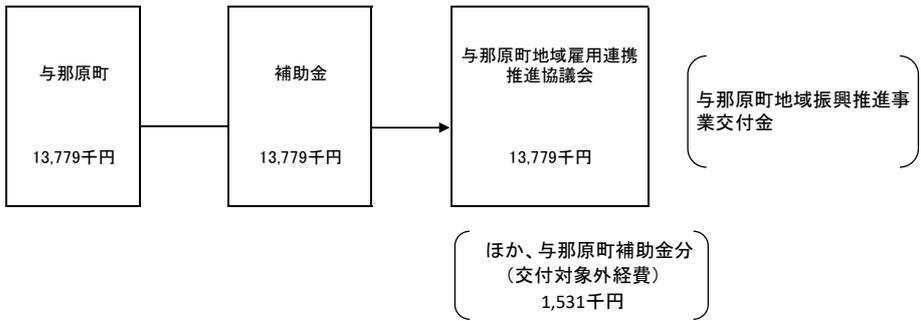
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・就業支援事業とキャリア教育の事業は関連する部分も多いが、1つの事業として業務を行うのは活動目標や成果目標の目標・実績が立てにくく厳しいと感じた。</p>	<p>・就業支援事業とキャリア教育事業2つの業務に分けて業務を推進した方が活動目標や成果目標をきっちり立てることができる。また、業務の性質上単年度では成果が出し切れない内容もあることから、複数年での事業取組が必要。</p>

今後の取り組み方針

・本庁内において業務の調整を行い、就業支援事業とキャリア教育事業の事業を2つに分けて業務を行う。就業支援事業に関しては就業相談後の追跡業務ができるような手法を確立し、就職相談後のアフターケアを充実したい。キャリア教育事業に関してはこれまで同様、小中高校と連携してジョブシャドウイングや職場体験等の事業を継続的にやりたい。また、「過卒生になりそうな生徒」のケアも通級指導教室の先生やキャリア教育担当教諭と連携を取りながら行いたいと考える。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,310	13,779	11,023	2,756	1,531



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助金交付要綱に基づく申請・実績報告により決定しており適正である。 ○本町の就業支援に必要な経費であり予算規模は妥当と考える。</p> <p>○受益者負担については、与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱に定める交付率に基づいており、負担関係は妥当であると考えます。</p> <p>○費目・使途については実績報告段階で精査しており、目的に即した真に必要なものとなっている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

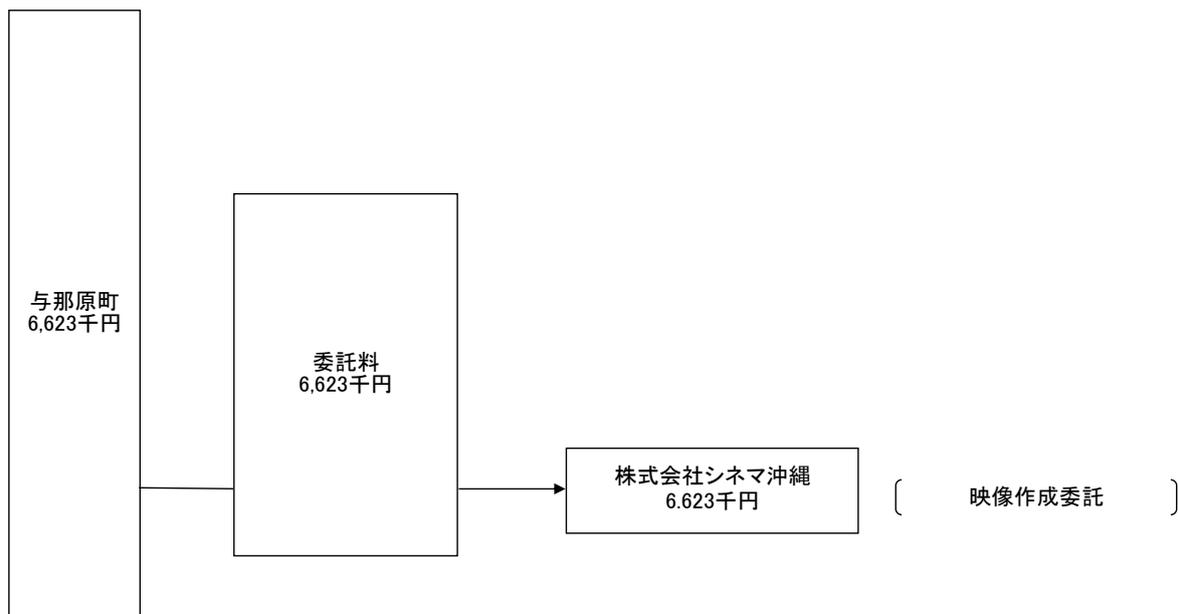
市町村名		与那原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12	与那原町の文化と歴史の情報発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ		
	担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 与那原町の戦前、戦後の移り変わりや、与那原大綱曳などの伝統文化、軽便鉄道などの歴史を映像にまとめ、与那原町の生い立ちや発展した現在の街の様子を町内外に発信する。 今年度は映像作成業者を選定、映像作成を行う。 						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	8,850				
	(b) 予算現額	6,623					
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,227					
	(d) 繰越額	-					
	A. 計(b+d)	6,623					
	B. 執行済額	6,623					
	うち交付金充当額	5,298					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	プロポーザルの結果、新規映像作成に係る撮影費や人件費等の企画製作費が当初予定額より減額となり、委託費が2,177千円減額。また、消耗品費50千円も不用になったため、合計2,227千円減額。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	与那原大綱曳や軽便鉄道などの「今・昔」映像編集	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	戦前・戦後の与那原町移り変わりの映像編集	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
移民した町民の思い、2世、3世等の感想等の編集	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 町所有の映像、画像及び沖縄アーカイブスから町の今・昔の比較や、戦前戦後で町がどのように変化してきたかを比較できる映像を編集・作成した。 「与那原町海外友好親善大使人材育成事業」にて来沖していた移民4世にインタビューを実施し、移民者の思いや、沖縄・与那原の伝統や文化を現在まで受け継いできた3世、4世の思いを映像に収めることができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(R1年度)
	映像編集の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R1成果目標】映像へのアクセス件数	目標					3000件/年
	【R1成果目標】町の歴史民俗に対する理解が深まったか(アンケートの実施)	目標					80%
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 映像編集を行うことにより、戦前の町制施行前から現在までの本町の歴史をわかりやすくまとめるとともに、元町史編纂委員など本町を知る識者らや一般町民のインタビューを記録することで、現在の町がどのように発展してきたかや、今の町民の思いを知ることができ、未来へ残していける貴重な資料を作成することができた。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・編集した映像について、町内外に広く周知を図っていく必要がある。 ・Youtubeでの閲覧促進について、年齢問わず視聴ができるように工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやポスター、パンフレット、視聴会を催すなどして映像をPRする。 ・QRコードなどのツールや、パンフレットで分かりやすく説明するなどしてYoutubeでの視聴を呼びかける。 ・海外県人会や町人会へも、メールや町Facebookにて周知をする。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・映像へのアクセスを呼びかけるために、デジタル・アナログ両面からのアプローチが必要となるため、ホームページやFacebookのみではなく視聴会の開催やポスターなど様々な方法をとる。 ・視聴会を開催した際に、町の歴史文化に対する理解が深まったか等のアンケートを実施し事業の評価を確認する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,623	6,623	5,298	1,325	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は本町要綱に基づく公募型プロポーザルで選定されており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業者見積を参考に積算を行いプロポーザルを実施しており、執行率も100%であるため予算規模は適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、事業目的に即し、必要なものに適正に使用している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	14	「御新下り」関連史跡復元・周辺整備・歴史資料館(仮称)整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部署名	生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 「親川」整備基本設計及び管理棟基本計画を策定する。 「御殿山」周辺整備工事を行う。 							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,316				10,500	29,000
		(b) 予算現額	2,669				13,662	29,000
		(c) 増減額(b-a)	▲ 647	0			3,162	0
		(d) 繰越額	-	2,669			-	-
		A. 計(b+d)	2,669	2,669			13,662	29,000
	B. 執行済額			2,592			13,662	28,566
	うち交付金充当額						10,929	22,852
	次年度繰越額		2,669					
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.1%			100.0%	98.5%
予算の状況の説明		不用額434千円については入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	H31年度	R2年度		
	「御殿山」周辺整備工事の実施	目標	「御殿山」周辺整備工事の実施設計の策定	「御殿山」周辺整備工事の実施	()	()		
		実績	「御殿山」周辺整備工事の実施設計の策定完了	「御殿山」周辺整備工事の完了				
	「親川」整備基本設計及び管理棟基本計画の策定	目標	(広場基本計画)の策定	「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画の策定	()	()		
実績		広場基本計画の策定完了	「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画の策定完了					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 「親川」広場基本設計及び管理棟基本計画の策定を行った。 「御殿山」周辺整備工事を行った。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(R4年度)	
	「御殿山」周辺整備工事の実施	目標	()	「御殿山」周辺整備工事の実施設計の策定	「御殿山」周辺整備工事の実施	()	()	
		実績		「御殿山」周辺整備工事の実施設計の策定完了	「御殿山」周辺整備工事の完了			
	「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画の策定	目標	()	(広場基本計画)の策定	広場基本設計と管理棟基本計画の策定	()	()	
		実績		広場基本計画の策定完了	広場基本設計と管理棟基本計画の策定完了			
【R4年度成果目標】 拝観ツアーの参加者数137人以上		目標				137人以上		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ○「御殿山」周辺整備工事を実施し、無事完了した。 ○「親川」拝所整備のための基本設計の策定と、拝所及び周辺を管理する建物(管理棟)についての基本計画を策定した。 							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○「御殿山」周辺整備工事については、芝生面積の変更や祠への階段設置等の変更はあったものの、無事年度内で完了することができた。</p> <p>○「親川」拝所整備については、基本設計・基本計画については無事策定完了し、地権者への説明も業務の進捗に応じて行ってきたが、区民への事業説明も必要であったように思われる。</p>	<p>○「親川」拝所整備については、令和元年度は物件補償や事業認定申請書の作成等、用地取得に係る事業が占めるため、その都度事業の地権者に対し進捗を説明する等これまで以上に多くの接触をはかることと、区民への説明会を開催することにより、令和2年度のスムーズな事業運営につなげる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○令和元年度では用地交渉・購入について重要となる事業認定申請図書の作成や物件補償費の算定等が控えており、スムーズに業務が行えるよう取り組むことと、これらの進捗について地権者より多くの接触をはかることで、スムーズな用地購入につなげる。</p> <p>○管理棟基本計画については、別事業での基本計画を参考に必要な項目をピックアップし、計画を過不足のないものにする。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	28,566	28,566	22,852	5,714	0
<pre> graph LR A[与那原町 28,566千円] --> B[工事請負費 22,885千円] A --> C[委託料 5,681千円] B --> D["(有)田端設備工業 22,885千円"] C --> E["株国建 5,681千円"] D --- F["「御殿山」周辺整備工事"] E --- G["「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定業務"] </pre>					
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明		
金の 流 れ 点 検 評 価 目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については98.5%執行しており、不用額については入札による残のみであり、適正であったと考えている。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○整備事業を進めるうえで必要な委託事業であり、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			